

2. 流れる水はどこへ行くの？ ① 水路や川へ



アスファルトの地面に降った雨が、水路のある低い方へ流れ落ちる。



(1) 低いところをめざす水

土にしみこまなかった水は、低い方をめざして流れていきます。そして、自然の川や人が整備した水路に流れこみます。

川や水路の水も低い方をめざします。一見平らに見える川でも、必ず上流が高く、下流が低くなっています。

注意!!…水路の岸はすべりやすく、急なところもあります。とつぜん深くなっていることも多いので、近づく時には、しんちように。また、さくは絶対乗りこえないこと。

川で行われた大きな工事

川にしながら
ふだんの暮らし

川にしながらの農業

川にしながらの漁業や工業



水路に集まり流れる水。



水路から川に流れ落ちる水。第二鈴蘭川・音更町。

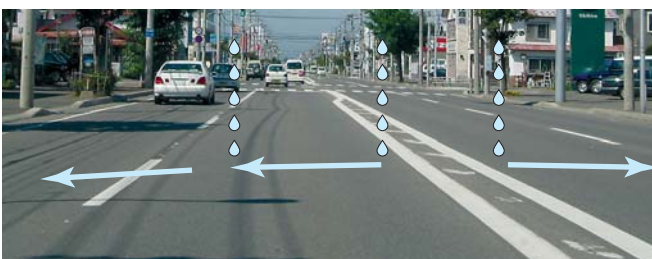
道路はかたむいている

水は自然に低いところへ流れますが、平らな場所では流れずにたまってしまいます。

そこで道路を整備する時にはゆるいかたむきをつけて、道路のはしに水が集まりやすいように工夫がされています。(→ 雨水ます p.70)

歩道は車道側にかたむき、車道は歩道側にかたむいていて、水が歩道の縁石沿いに流れるようになっています。

ただ、かたむいた道の場合、ベビーカーや車イスなどは低い方へ向かいやすいため通行しにくくなります。



国道236号。広い道路でも、かたむけて造られている。



歩道は車道側に、車道は歩道側にかたむいていて、縁石沿いに水が集まって流れる。

付録